



保護者の皆さまへ

クローバー学園

2024年度の取り組み



クローバー学園 基本方針



1 子どもの権利

子どもを権利の主体者としてとらえ、その最善の利益を追求し、家庭の代替機能として安心、安全な場を提供するように努める。



2 関係性をつくる

子どもたちのくらしのあらゆる場面で子どもとの関係性を育むためのツールとして愛着の再形成、関係性修復のための支援をおこなう。



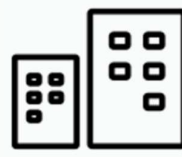
3 自立・学習

将来、自立した個人として等しく健やかに成長することができるよう、子どもの発達段階に応じて、切れ目のない学習機会を提供する。



4 地域支援

他の関係機関と連携し、子どもに関する地域支援の拠点として地域に必要とされる施設を目指す。



クローバー学園では、「愛育」の精神を大切に、職員一人ひとりが「当園のあるべき姿」をめざし、日々の実践に努めてまいります🍀



2024年度重点目標

①子どもの権利を第一に

子どもの最善の利益にかなう支援をめざし、権利を擁護し、意見を表明しやすい環境を整える。

②食を通じた関係性づくり

愛着関係や関係性を育むための最も大切なツールである食を通じて、子どもと一緒にさまざまな経験を得られるように支援していく。

③学習支援の充実

学習環境を整え、基礎的な学力の向上を目指すとともに、子どもが自主的に意欲をもって学習に取り組めるよう、学力保障に向けた支援を進める。

もっとくわしく  お伝えします!



①子どもの権利を第一に

子どもが自分の考えや意見を言えるような場(子ども会)を、小学生、中学生、高校生ごとにつくっていきます。また、これまでよりも、子どもの声聴く機会を積極的につくるようにし、何気ない子どもの気持ちをくみ取って普段の生活にも取り入れるようにしたりしていきます。また、自立支援計画をつくる際に、子どもの気持ちや考えも尊重しながら進めています。

②食を通じた関係性づくり

子どもたちを支援していくために、まずは子どもと職員が良好な関係を結んでいく必要があります。キッチンで子ども一緒にご飯やおやつ作りをしたり、子どもの要望に応じて担当職員が献立をアレンジしたりしています。キッチンの中で一緒に調理をしながら、子どもたちが今感じていたり困っていることを気軽に話ができるような雰囲気を作っていくことで、食を通じて子どもと関係性を作っていくことを一番に大事にしていきたいと考えています。

③学習支援の充実

学力をつけていくことで、将来の進路や職業の選択肢の幅を広げていくことができます。当園では、子どもたちが自分から勉強に取り組めるように、普段の生活の中で職員が勉強のサポートしたり、子どもの希望に合わせて、大学生の学習ボランティアさんに勉強を見てもらったり、中学生は塾に通うことができるような仕組みを用意しています。また、小学生には、自分で選んだワークやドリルを使って、勉強する習慣をつけられるように支援をしたいと考えています。



2024年度重点目標

④性教育の充実

子どもがこころと体を豊かに育くむことができるように、生活の中で性(生)を特別視せずに学ぶことのできる支援のあり方を検討・実践していく。

⑤職員の人材育成

当園の養育指針である「あるべき姿」を改訂し、それを実現可能とする人材育成、キャリアコースを体系化させ、総合的な人的資源マネジメント体制の土台をつくる。

⑥地域の子育て支援

子育て短期支援事業を基軸として自治体との連携を進めつつ、子ども食堂(宅食)の可能性を探るとともに多機能化の事業の選定にあたる。

もっとくわしく  お伝えします!



④性教育の充実

当園では、いろいろな年齢の子どもたちが集団で生活しているため、子ども同士のかかりの中で自分の年齢以上の性的な話題に触れてしまう場合があります。そこで令和5年度から、性(生)教育委員会を立ち上げ、子どもに自分の体を大切にし身を守る術を身につけたり、年齢に合った性の知識を身につけることができるように、大学の先生にも協力してもらいながら、性(生)教育を始めています。

⑤職員の人材育成

子どもの支援をしっかりとできるような職員のあるべき姿を目指し、園内や外部での研修機会を増やすだけでなく、クローバー学園が目指す養育の形『当園のあるべき姿』の改訂を目指します。また、職員が安心して長く勤めてもらうことができるように、自分のキャリアを考えられるような仕組みも整えていきたいと考えています。

⑥地域の子育て支援

地域のご家庭への支援として、ショートステイ(子どもを短時間や1日お預かりすること)事業を市町村と協力して取り組み始めました。これからの児童養護施設は、施設に入所している子どもたちを支援してだけでなく、子育て支援の拠点として、地域のご家庭の子育てについてのさまざまな悩み相談を受けたり、子育てが大変だと感じているご家庭を支援する役割ももつようになってきています。

子どもと職員の数(2024年8月)



つくしグループ



幼児
1名



小学生
4名

さくらグループ



小学生
2名



中学生
1名



高校生
2名

ひのきグループ



小学生
2名



中学生
2名



高校生
1名

分園かえで



小学生
4名



高校生
1名

分園ひまわり



中学生
2名



高校生
4名

職員は、各グループに
4~5名配置されて
います



園長、児童指導員、保育士、心理士、栄養士、自立支援専門相談員、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員等、各種の専門職も含めて、約30名で子どもたちの生活と自立を支えています。

2024年度イベント・行事(予定)



4月

新グループ・新任職員発表
地域の河川清掃



10月

介山大菩薩会との稲収穫
ハロウィンパーティ



5月

ゴールデンウィークのお出かけ

11月

全体レク(ディズニーランド)
総合防災訓練

6月

介山大菩薩会との田植え



12月

劇団四季ミュージカル観劇
クリスマス会



7月

七夕かざり
甲州市調理師組合の慰問

1月

書初め

8月

夏休みのお出かけ
退園生とお盆交流会

2月

節分・豆まき



3月

お別れ球技会
退園式・離任式

